

科学研究費助成事業（科学研究費補助金）研究成果報告書

平成 24 年 6 月 18 日現在

機関番号：24402

研究種目：基盤研究（C）

研究期間：2009～2011

課題番号：21530390

研究課題名（和文）映像コンテンツ産業における提携能力の時系列分析：メディア再編期の国際競争戦略

研究課題名（英文）The time-series analysis of alliance capability in the visual movie industry: International competitive strategy in media reconstruction

研究代表者

山田 仁一郎（YAMADA JIN-ICHIRO）

大阪市立大学・大学院経営学研究科・准教授

研究者番号：40325311

研究成果の概要（和文）：本研究は 2 つの視点から取りまとめられている。第 1 に、現代日本の映像コンテンツ産業における製作提携の構造と業績の関連について、専門誌の評価や視聴率等の具体的な指標を用い、企業の製作・提携能力の形成過程を分析している。第 2 に、内外の提携を担う企業内プロデューサー育成のメカニズムと課題を明確化するために、階層的キャリアキャピタルモデルの観点から、創業期から現在に至るまでのプロデューサーのキャリア発達とネットワークを分析している。

研究成果の概要（英文）：We have two perspective in this research. First of all, explores the development of network alliances of production consortia in the Japanese film industry, and examines the characteristics that facilitate a high rate of performance and social capital in promoting commercial films in the era of digital media. Secondly, a description of how and why production consortia and producers are developing in the Japanese motion picture and animation industry is provided from the point of view of career capital pyramid theory.

交付決定額

（金額単位：円）

	直接経費	間接経費	合計
2009 年度	1,500,000	450,000	1,950,000
2010 年度	1,000,000	300,000	1,300,000
2011 年度	1,000,000	300,000	1,300,000
年度			
年度			
総計	3,500,000	1,050,000	4,550,000

研究分野：経営学

科研費の分科・細目：経営学・経営学

キーワード：(1)コンテンツ開発(2)ネットワーク (3)戦略提携(4)プロデューサー(5)アニメーション (6)ソーシャル・キャピタル(7)製作委員会 (8)メディアミックス

1. 研究開始当初の背景

グローバルな競争がデジタル化のなかで激化し、国や都市など様々な関連産業の成長にコンテンツ開発の重要性が増大し続けている。本研究は、なかでも最も関連産業のメディアミックス化などの事業展開につなが

り、着目を浴びているコンテンツの一つとして映像メディア産業（実写映画とアニメ）を主要な対象とし、そのコンテンツ開発に関わる日本企業のグローバルな競争戦略について、課題となる企業間提携やプロジェクト組織や人的資源の管理の視点から、国際比較分析も交えて明らかにする必要性が背景にあ

った。

映像コンテンツ産業は、デジタル時代の多元メディア化の進展に伴い、多ジャンル化とともに爆発的な浸透を国際的にみせており、CGM(Consumer Generated Media)の活用戦術のように企業とグローバルな消費者市場との不可欠なインターフェースとなっている。巨視的にはその開発プロセスやコンテンツ・プロバイダーやメディア企業との合従連衡や戦略提携・再編の影響を強く受ける一方、微視的には個人の才能や能力に依存しつつも、商業化の過程において必ずネットワークによる組織のプロセスを経るという大きな特徴を有している。

2. 研究の目的

本研究は、現代日本の映像コンテンツ産業における全体的な製作提携の構造と業績の関連について、2000年代の製作委員会のネットワーク分析と事例分析を通じて明らかにすることを目的とする。

これまでの我々の研究成果を基礎に、映像コンテンツとメディア業界の構造変動の時系列分析を行う。特に企業間提携ネットワークが2000年代にかけて、製作委員会形式が主になり、大きく時系列的に変化していることを踏まえ、ソフト製作に於ける提携管理やその能力の構築は、メーカーの共同開発とは異なる文化や価値、テイストなどのソフトな資源の活用度合いが高いなどソフト・コンテンツというプロダクト特性が強く表れるとともに多方面の市場へのシナジー効果があるメカニズムを明らかにする。

3. 研究の方法

本研究の方法には大きく2つのアプローチをとっている。一つは、映像コンテンツの制作に際しつくられる製作委員会と呼ばれる時限ネットワーク組織を分析の対象とし、定量的に分析するアプローチである。もう一つは、そのなかにおかれた代表的な個別事例の分析を通して、ネットワーク組織の背後にある人材育成や取引慣行など、戦略的提携に基づくコンテンツ開発や流通・マーケティング戦略を担うプロデューサーのキャリアについて、綿密な面談調査とグランデットセオリアプローチに基づく調査分析を行うことである。さらに、これら2つのアプローチを併用することによって、内外の提携行動の構築につながるような優れたプロデューサーの能力開発と組織能力の構築について検討する。

4. 研究成果

本研究は、現代映像コンテンツ産業のメディアミックスの論理に注目し、製作委員会のデータベース作成を継続し、テレビアニメーションと劇場映画やキャラクターグッズのマーチャンダイジングなどを幅広く手がける最大手X社の協力を得て、30年にわたる制作陣の人的関係とプロジェクト・ネットワーク組織のデータベースを構築した。それによって歴代作品とプロデューサーのキャリアに関する定量的ならびに定性的なデータ収集と分析を行った。

その結果、映像コンテンツ関連企業の保有する事業資源(小売網、デジタル技術、タレントなど)を活かす途を探るため、幅広く流通メディア企業と製作企業そして関連企業との、相互に資源化を可能にする関係性資本があることがわかってきた。

一方で、各企業間の資源活用関係の運用の実際は、戦略的提携を管理する個別のプロデューサーなどに依存する。これらのプロデューサーの人材育成の過程とルーティンと取引慣行の変化の発見事実を収集している。これらの調査をふまえ、今後、ネットワークにおける提携組織能力(Alliance capability)の観点を導入することによって、変革期を迎えるメディア産業の経営管理上の含意と理論的含意が得られるだろうと期待される。

本研究の貢献は、3つある。第一に、組織論・競争戦略論とネットワーク社会学や産業社会学等による学際的な研究の視点から、ソフト・コンテンツ制作のネットワーク分業と取引の関係を時系列的に成果との関連性から明らかにしたこと。そのデータベースの構築をアニメーション制作のリーディングカンパニーを基軸として、一定程度、構築したこと。

第二に、日本・アジアでの国際比較に基づく分析を行うために、台湾と日本の映像コンテンツ・プロデューサーの比較研究を進め、台湾・成功大学創造産業研究所において、国際ワークショップを開催して、共同研究の端緒を一定程度つけたこと。

第三に、映像産業における重要性が増している複数コンテンツのジャンル(実写映画・アニメ)を対象として、ミクロの組織レベルの個人キャリアや技術等の変化と、企業間提携の戦略論や産業の比較制度論などのマクロな変化とを統合的に国際的な競争戦略視点で明らかにしようとした。特に、戦略の主体の形成に着目し、階層的キャリア・キャピタル理論の視点から、社内におけるプロデューサー育成システムのこれまでの課題を一定程度、明らかにした。調査協力企業に対しても経営陣へのフィードバックを行うなどの実践的貢献がある。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計 7 件)

- ① Yamashita, M. and Yamada, J. "The Role of Entrepreneurs' Career Solidarity toward Innovation: An Irreplaceable Relationship in Career Capital Pyramid," Shavinina, L. Eds. *International Hand Book of Innovation Education*, Chap.45 (2012, forthcoming)
- ② Yamashita, M. and Yamada, J. (2010) "Películas imprescindibles nacidas de relaciones personales imprescindibles," *Revista de gestion y cultura, EL emprendedor cultural*, pp.34-36., 2010/11.
- ③ 山下勝 (2010) 「人材アーキテクチャ論から見た人材育成システムに関する考察」『青山経営論集』44 巻, 2 号, pp. 38-62.
- ④ Yamada, J. (2010) "The Co-dependence of Entrepreneurial Flair in the Success and Development of East Asian Film Festivals" Working Paper No.158, *Institute of Economic Research, Kagawa University*, pp.1-28.
- ⑤ 若林直樹・山田仁一郎・山下勝・中本龍市・中里裕美 (2010) 「日本映画の製作提携における凝集的な企業間ネットワークと興行業績 : 2000 年代の製作委員会のネットワーク分析」京都大学大学院経済学研究科 Working Paper, J-70, pp. 1-23.
- ⑥ Wakabayashi, N., Yamada, J., Yamashita, M., Nakamoto, R. and Nakazato, S. (2010) "Japanese Films Strike Back: Development of Promotional Alliances in the Japanese Film Industry in the 2000s," *Kyoto University, Graduate School of Economics, Research Project Center Discussion Paper Series*, No. E-10-009, pp.1-12.
- ⑦ Wakabayashi, N., Yamashita, M. and Yamada, J. (2009) "Japanese Networks for Top-Performing Films: Repeated Teams Preserve Uniqueness," *Journal of Media Business Studies*, Volume 6, No. 3, pp.31-48.

[学会発表] (計 9 件)

- ① Noguchi, H., Takai, K. and Wakabayashi, N. "Shall we keep dancing?: Longitudinal analysis of continued network efficacy of

production consortium in Japanese film industry" *Institute of Creative Industries Design, National Cheng Kung University, The 3rd International Creative Industries Day Workshop*, 2nd April, 2012.

- ② Kakinuma, N. and Wakabayashi, N. "Reconsidering career development of animation producers from talent management perspectives: Case study of producers in the Sunrise Inc.," *Institute of Creative Industries Design, National Cheng Kung University, The 3rd International Creative Industries Day Workshop*, 2nd April, 2012.
- ③ Yamashita, M. and Yamada, J. "The Role of Entrepreneurs on Filmmaking: An Irreplaceable Relationship in the Career Capital Pyramid," *Institute of Creative Industries Design, National Cheng Kung University, The 3rd International Creative Industries Day Workshop*, 2nd April, 2012.
- ④ Wakabayashi, N., Yamada, J., Yamashita, M., Nakamoto, R., and Nakazato, H. "Evolution of Promotion Alliance Networks in the Current Japanese Film Industry: Advantages of Social Cohesion in Digital Media Mix Promotion," *European Group of Organization Studies 27th Colloquium, Subtheme 23 Digital Technology and the Creative Industries, Gothenburg University, Sweden*, July 8, 2011.
- ⑤ Yamada, J. "The Co-dependence of Entrepreneurial Flair: The Development of East Asian Film Festivals," *Association of Japanese Business Studies/Association of International Business, 24th Annual Meeting*, Nagoya 22, June 2011, Nanzan University.
- ⑥ Wakabayashi, N., Yamada, J., Yamashita, M., Nakamoto, R., and Nakazato, H. "Japanese Films Strike Back: Evolution of Promotional Alliances in the Japanese Film Industry in the 2000s," *The Seventh Asia Academy of Management Conference, University of Macau, SAR, China*, December 12-14, 2010.
- ⑦ 山下勝 「キャリア連帯と成長戦略 : 映画産業における創造性管理」国際戦略経営研究学会、青山学院大学、2010 年 9 月 10 日
- ⑧ Yamada, J. "The Co-dependence of Entrepreneurial Flair in the Success

and Development of East Asian Film Festivals," *the 4th Annual Conference on 'Cultural Production in a Global Context: The Worldwide Film Industries'* Grenoble Ecole de Management, June 3-5, 2010.

- ⑨ 若林直樹・山下勝・山田仁一郎・中本龍市「日本映画の制作提携における凝集的な企業間ネットワークと興行業績—2000年代の制作委員会ネットワーク分析—」組織学会研究発表大会、東北大学、2009年6月6日

〔図書〕(計2件)

- ① 山下勝・山田仁一郎『プロデューサーのキャリア連帯:創造的個人の組織化戦略』白桃書房、2010年, pp.1-327.
② 若林直樹『ネットワーク組織』有斐閣、2009年, pp.1-358.

6. 研究組織

(1) 研究代表者

山田 仁一郎 (YAMADA JIN-ICHIRO)
大阪市立大学・大学院経営学研究科・准教授
研究者番号: 40325311

(2) 研究分担者

山下 勝 (YAMASHITA MASARU)
青山学院大学・経営学部・准教授
研究者番号: 80348358
若林 直樹 (WAKABAYASHI NAOKI)
京都大学・経営管理大学院・教授
研究者番号: 80242155

(3) 連携研究者

なし